

平成 24 年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

人間尊重の精神を基盤に豊かな心と個性を持ち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる民主的な人間を育成する。

- ・ 心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）
- ・ 自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・ 健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・ 心身ともに健康な人間育成のため、「知・徳・体」の教育を調和的に展開する。
- ・ 全教職員が教育に携わる者としての自覚のもと、協力して生徒・保護者・地域社会から信頼される教育の推進に努める。
- ・ 様な資質や生育暦をもつ生徒の存在を認識し、適正な生徒理解や明確な方針により、健全な社会生活を営むことのできる人間育成に努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※ 地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- （1） 豊かな人間性、社会性を育む教育を推進
- ・ 学級経営の基盤となる教師と生徒の信頼関係の構築
  - ・ 生徒を生かす場を設定し、所属学級に一人一人が誇りをもてる学級づくりの推進 ○ 校舎内外に潤いある環境づくり
- （2） 「確かな学力」を身に付けるための学習指導
- ・ 基本的学習態度、学習内容の基本・基本の定着を図る指導
  - ・ 学ぶ喜びや達成感がもてる授業展開の工夫
- 家庭と連携を図り、学習習慣の育成
- （3） 健やかな心身を育てる教育の推進
- 健康・安全に関する基本的な生活習慣の確立 ○ 粘り強く取り組む身体活動の実践
- 家庭と連携を図った食育の充実
- （4） 新たな教育課題への対応
- ・ 特別支援教育への理解と支援
  - ・ 学校マネジメントを生かした教育活動

4 今年度の重点目標（短期的視点）※ 地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- （学 校 運 営） ○ スローガン： オンリー ONE！！（互いに認め合い・磨き会おう）
- ※まずは、自分を認め磨こう（自分を認め、向上させる場の設定）・相手を認めよう（相手を知り、理解する場の設定）
- （児童生徒指導） ○ 規範意識と自尊感情を育てる生徒指導の推進
- （健康・体力） ・ 自己の体力向上を目指し、主体的に運動に取り組む生徒の育成
- （学 習 指 導） ・ 基本的な学習態度を育成し、学ぶ楽しさを味わえる授業の工夫

5 自己評価（評価項目の A は市共通、B は学校独自を示す。）

※ 地域学校園内で共通する取組は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

| 項目      | 評価指標                                                | 主な具体的な取組                            | 方向性 | 評価                                                                                                                                                                  |
|---------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校運営の状況 | A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。<br>【数値指標】肯定的評価 80%    | 学校行事で生徒が意欲的・主体的に活動できる場と時間を計画的に確保する。 | B   | 【達成状況】<br>・ A1・A2・A4・A5 については、教職員・保護者・地域住民・生徒、すべてで肯定的評価が 80%を越え、数値指標に達している。<br>・ A3 は平均で 90%になってはいるが、生徒の肯定的評価が 76%で数値指標に達していないのが気にかかる。<br>・ A1・A2・A3・A4・A5 すべてにおいて、 |
|         | A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。<br>【数値指標】肯定的評価 80% | 生徒理解に努め、教師と生徒の人間関係を大切にしながら教育活動にあたる。 | B   |                                                                                                                                                                     |

|         |                                                                |                                                                                      |   |                                                                                                                                                                     |
|---------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校運営の状況 | A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。<br>【数値指標】肯定的評価80%   | ○5分前行動の徹底を図り、安全とゆとりのある行動が取れるようにさせる。                                                  | A | 概ね90%を越えているが、生徒の肯定的評価が数値指標には達しているが、それほどでもない。<br>【次年度の方針】<br>・A1・A2の学校全体の様子では数値指を上回り、さらに市平均よりほぼ上にあるが、引き続き生徒主体の活動を重視し、活気あふれる学校を構築していく。                                |
|         | A4 教職員は分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。<br>【数値指標】肯定的評価80%       | 授業の初めに明確な課題を提示すると共に、生徒の理解状況を確認しながら、分かる授業を目指す。                                        | B | ・A3「授業と生活のきまりを守って・・・」の生徒が数値指標に達してなく、また、昨年度より下がっている。昨年度同様、5分前行動、生徒会活動としてノーチャイム運動の推進の他、地域学校園内での取組として生徒自ら                                                              |
|         | A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。<br>【数値指標】肯定的評価80%            | (1) 生徒が生き生きと生活できるようにするため、各行事のバランスを図る。<br>(2) 授業時間を確保するため授業交換などを積極的にを行い、出張などでの自習を減らす。 | B | きまりを守ろうとする態度の育成を図る。<br>A4・A5の学校運営の状況では、ほぼすべてにおいて昨年度を上回り、またほぼ市平均より上にあるが、わかる授業の展開、教育課程の工夫・改善は継続する。                                                                    |
| 学校運営の状況 | A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。<br>【数値指標】肯定的評価80% | ○家庭訪問や学校公開日の設定、各種だより、HPなどを利用して学校の情報を発信・提供する。                                         | B | 【達成状況】<br>・A6については、教職員・保護者・地域住民とも数値指標に達している。<br>・A7では生徒の肯定的評価が若干数値指標に足りない。                                                                                          |
|         | A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。<br>【数値指標】肯定的評価80%  | ○学校・家庭・地域の連携を図るため、三地区における地区懇談会を実施し、積極的な意見交換を行う。                                      | A | ・A8については、教職員の数値が市平均より下回り、数値指標に達していない。<br>【次年度の方針】<br>・A6「積極的な情報発信提供」は数値指標を上回っているものの、開かれた学校づくりは、地域協議会や地域学校園でより一層の協力体制を推進していく。                                        |
|         | A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕<br>【数値指標】肯定的評価80%                  | (1) 教室や廊下の掲示物を計画的に整備すると共に、できるだけ多くの生徒の作品を掲示する。<br>(2)○学習にふさわしい環境を作るため、清掃活動の充実を図る。     | B | ・A7「三者連携の推進」では生徒の意識のみが若干もの足りないだろうと考え、さらに地区懇談会を充実させ、児童生徒を巻き込んだ地域の行事を盛り上げたい。<br>・A8「学習しやすい環境」では教職員の数値指標が足らず、生徒作品掲示・清掃活動の充実・校内環境整美に引き続き努めていく。                          |
| 教育活動の状況 | A9 生徒は、進んであいさつをしている。<br>【数値指標】肯定的評価80%                         | ○生徒会、教職員、保護者、地域の方々が協力して、朝のあいさつ運動を実施する。                                               | B | 【達成状況】<br>・A9は昨年度に続き数値指標を上回り、すべてにおいて市平均を超えている。<br>・A10については、教職員と生徒で肯定的評価が昨年度より上回ってはいるものの、数値指標に達していない。                                                               |
|         | A10 生徒は、正しい言葉づかいをしている。<br>【数値指標】肯定的評価80%                       | ○全教科・領域で言語活動の充実、きちんとして言葉づかいで生活ができるよう指導・援助の徹底を図る。                                     | A | 【次年度の方針】<br>・A9「進んであいさつをしている」は本校の特色のひとつであり、地域学校園・地域協議会の協力・道徳授業等で扱い、さらに継続推進していく。<br>・A10「正しい言葉づかい」は、全教科・領域で言語活動の充実を図ってきたが、まだまだ足りないところであると考え、生徒の発表の場を多くし、援助・指導の徹底を図る。 |

|       |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康・体力 | <p>A11 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けてしている。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p> <p>A12 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしてしている。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p> <p>B1 心身の健康を図るため、積極的に部活動に参加している。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p> | <p>昼休みや部活動などで積極的に運動させる。</p> <p>○「給食だより」や保健・学級活動を通して、食の大切さを自覚させる。</p> <p>(1) 各部の活動内容や取り組み状況を生徒会などで紹介する。<br/>(2) ○魅力的な部活動にすることによって、加入率を高める。</p> | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・ A11 については、生徒のみが 71% で数値指標に達していない。<br/>・ A12 は、教職員・保護者・生徒において、数値指標に達していない。昨年度と比べても保護者・生徒は肯定的評価が下がっている。<br/>・ B1 は、すべてにおいて数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・ A11「運動習慣」については、生徒たちは昼休み積極的に校庭で運動する場面が見られ、生徒の 71% は放課後の文化部活動に起因するのではないかと考える。<br/>・ A12 は「好き嫌いなく給食を食べている」の質問であり、地域住民以外が数値指標に達していないため、生徒会給食委員会の活動はもちろん、給食だよりを通して家庭にも協力をお願いしていく必要がある。</p> |
|       | <p>A13 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p> <p>A14 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p>                                                                             | <p>基礎的・基本的内容の確実な定着と学ぶ楽しさを味わわせる授業の工夫・改善を行う。</p> <p>○「学習の約束」を身に付けさせ、他の意見をよく聞き、しっかり自分の発表ができるよう授業に取り組ませる。</p>                                     | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・ A13 については、教職員・保護者・生徒で数値指標に達していない。特に教職員は 70% で、昨年度より上がってはいるものの差が目立つ。<br/>・ A14 は、生徒が 72% で数値指標に達せず、その他は十分に上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・ A13「進んで学習に取り組んでいる」では、基礎的・基本的内容の確実な定着をめざし、授業では「指導と評価の一体化」を進めているところですが、さらに徹底できるよう重点課題として研究推進していくつもりである。<br/>・ A14「落ち着いて学習している」では、生徒が数値指標に達していないため、引き続き基本的学習態度の醸成を地域学校園で具体的方策を考え、指導・援助していく。</p>              |
|       | <p>B2 美しく豊かな心を育成する。</p> <p>【数値指標】<br/>肯定的評価 80%</p>                                                                                                                                               | <p>○体育祭・文化祭・ボランティア活動等への積極的参加を図り、豊かな心と互いに認め合い・磨き合おうとする心を醸成する。</p>                                                                              | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・ B2 は教職員・保護者・地域住民・生徒すべてにおいて、数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・ 昨年度は「朝の読書」について B2 をみてきましたが、本年度は学校行事で質問したところ、生徒の 83% 以外は 90% を超えて高い肯定的評価を得ました。しかし、学校公開日などに保護者・地域の方々の来校が少ないため、体育祭・文化祭以外でも大勢の参加が望めるよう保護者・地域に啓発していく。</p>                                                                                                                               |

〔総合的な評価〕

※ 地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・学校全体の雰囲気や教職員への評価で数値指標を越え、平均で95%・93%と高い評価を得ていることは、うれしい限りである。

・全体的に肯定的評価が昨年度を上回っていたり、保護者・地域住民の肯定的評価が高かったりしていることは、これからの学校教育活動の励みとなります。

○A10の「生徒は時と場に応じた言葉づかいをしている」では、教職員と生徒の肯定的評価が数値指標に達していないことは、学習指導要領改訂の柱でもある授業における言語活動の充実に関し各教科・領域で具体策をもって取組む他、日常の学校生活の上でも生徒との豊かな人間関係を築き、教師自らも率先垂範していこうと考える。

○A12の「生徒は好き嫌いなく給食を食べている」では、教職員・保護者・生徒に若干ではあるが数値指標に達していないため、生徒会給食委員会の主体的活動を促し、食育の指導の工夫・改善を図り、給食だより等を通して保護者にも協力をお願いし、好き嫌いなく食べる習慣を身に付けさせる。

○A13の「生徒は進んで話し合い、分かりやすく発表するなど積極的に学習している」では、教職員・保護者・生徒に若干、数値指標に達していないため、指導と評価の一体化を推進し、基礎的・基本的内容の確実な定着を徹底し、さらに言語活動の充実を基に、生徒の発表の場を多くし、生徒が自信をもって自分の意見が言えるよう指導・援助していく。

○全体的にみて、生徒の数値指標80%達成されていないところが多いことは、生徒が自信をもって積極的に活動することができていないのではないかと考える。教育活動全般にわたって、生徒自ら学校生活の改善と向上を図れるよう、ガイダンスの機能の充実を重視していきたい。

## 6 学校関係者評価

・A10～A14の生徒の数値が比較的低いのはどうしてかを考えると、質問の文言にある程度の要因があるのではないかと。このアンケートでは、「生徒は～」と集団して捉えている。別のアンケートで「あなたは～」と生徒自身の個人として質問をしている同じような内容のものがあつたところでは高い数値が出ている。したがってそれほど心配するものではないと思う。

・小学校低学年のうつのみや学校マネジメントアンケートでは、「わたしは～」の質問に対して中学校では「生徒は～」の質問になっているが、統一すべきではないか。

・A14では教職員が90%台で生徒は70%台とこの差は非常に大きく、何らかの対策を練らなければならないと思う。

・教職員では数値指標に達していないところが4つ、保護者2つ、生徒は7つとあるが、次年度の課題解決としては決して無理のないちょうどよい数ではないかと思われる。立てられた対策をぜひ実践して欲しい。

## 7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※ 地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・全体的に肯定的評価が昨年度より上がっているところが多く、特に保護者・地域住民ではほとんど数値指標80%を上回ったことは、これからの教育活動の励みとして捉え、課題解決に努力をしていきます。

○生徒の時と場に応じたことばづかいの指導については、各教科領域において生徒の発表の場を多くし、論考、思考を通してコミュニケーション能力の育成を図るなど言語活動の充実を柱に、生徒との豊かな人間関係を構築し、教職員も率先垂範していきます。

○生徒の好き嫌いなく食べる給食については、食に関する指導において食事のマナーや重要性、食文化の理解を通して、食事の喜びや楽しさを感じられるようにするほか、各種だより、給食試食会、学校給食・保健委員会等を活用し、家庭の協力を図っていきます。

○生徒の積極的な学習の推進では、先にあげた言語活動の充実を基盤に、指導と評価の一体化を進め、基礎的・基本的知識や技能の確実な定着を徹底して行い、生徒が自信を持って自分の意見を発表できるよう援助・指導していきます。また、小中一貫教育を通して、個に応じた指導の充実を図り、生徒たちがさまざまな活動に自信を持って積極的に参加できるようガイダンスの機能の充実を重視していきます。